

編集と発行

金木町企画室

青森県北津軽郡金木町
大字金木字朝日山323
電話 532111 (代表) 内線40



黄^よ泉^みの^く国^に

賽の河原例大祭

56

揺らめく「ろうそく」。

たち込める「香煙」

供養を唱える「説経」

ふだん物静かな老松に囲まれた小高い丘の一角もこの日はかりは人、人、人の列が後を絶たない。

出店の小屋が建ち、イタコが集り、夜を徹する。川倉賽の河原地蔵尊の例大祭だ。

地蔵堂内は、真新しい着物に着せ替えられたお地蔵様がおだんご、手ぬぐい、ぞうりなどを携えた善男善女を圧倒し、無言の対話をする。

約千二百年前、慈覚大師が地蔵を作った以来信仰され続けて来た津軽の霊場は、いつの頃からかイタコが集り、近郷近在はもとより県外からの信仰者も集め、ジャラジャラと数珠の音とともに独特の口調で黄泉の国の声を口寄せする。

年一回は、こうして亡くなった我が子や最愛の連れと出合うことができるようになった。

↑ 川倉賽の河原前夜祭でのイタコの口寄せ

進む公園整備と観光



県立芦野公園の整備が観光に及ぼす影響は計り知れないと言われる中で、町では今年、観光費に五千二百万円の予算を計上し、整備に乗り出しました。

金木町の観光の中枢は、太宰治と風光明媚な県立芦野公園。その整備も年々少しずつ進んできました。公園整備は、太宰碑の建立された昭和四十年頃から本格化し、歴史民俗資料館や桜松橋の建設、太宰橋を含めた遊歩道の整備と着実に進展して来ました。こうした今までの太宰碑を軸とした周辺の整備が、今年度は、桜松橋を渡った休眠状態にある対岸を自然景観散策コースとして延長しようとはじめて整備されることになりました。これまでに遊歩道は、幅

約一・四メートルで二千二百二十八メートルが整備されていますが、地理的に広い芦野公園の一角を散策するだけのもので、起伏し湖面に映える自然景色を雄大に觀賞するには必ずしも満足できるものでなく、今年の整備は、将来公園を一周できる散策コースの足がかりとして重要視されます。「芦野公園の特色は、なんとしても雄大な背景と地勢の変化に富んだ自然美にある。そして春は五月の観桜会、花火大会、夏の舟遊び、秋のきのこ狩りなどで知られる芦野公園は、総面積一三〇ヘクタール余り（湖面を含む）の広さの中に湖沼と小丘と松林とその間に植えられた桜とが調和のとれた自然美を現わし、湖沼の公園、松の公園ともいわれている。」（郷土史より）

約一・四メートルで二千二百二十八メートルが整備されていますが、地理的に広い芦野公園の一角を散策するだけのもので、起伏し湖面に映える自然景色を雄大に觀賞するには必ずしも満足できるものでなく、今年の整備は、将来公園を一周できる散策コースの足がかりとして重要視されます。「芦野公園の特色は、なんとしても雄大な背景と地勢の変化に富んだ自然美にある。そして春は五月の観桜会、花火大会、夏の舟遊び、秋のきのこ狩りなどで知られる芦野公園は、総面積一三〇ヘクタール余り（湖面を含む）の広さの中に湖沼と小丘と松林とその間に植えられた桜とが調和のとれた自然美を現わし、湖沼の公園、松の公園ともいわれている。」（郷土史より）

県立芦野公園の景勝は、今から約三百年前の元禄十一年（西歴一六九七年）に始まるかとされています。金木新田開拓の折に着工された藤枝溜池築堤工事がそれで、築堤以前は、小さな小川が流れていたにすぎずまったくの原野と想定されるからです。

その後、桜を植栽し増植。昭和五十年に芦野池沼群県立自然公園の指定を受け、現在では桜千七百本、松千本、梅八十本が湖とともに四季折々の自然美を呈し、訪れる人を魅了させています。



観光立町をめざし キャンペーン

盛んな観光PR

公園整備のうち、金中跡地の利用も欠かせない要因として計画
町民の憩の場づくりが本格化されます。



アスパムで行われた“金木デー”

また、公園整備と相まって観光PRも盛んで、“観光元年”あおりとしての象徴青森県観光物産館「アスパム」の完成は、県内の観光の中核として注目を集

め、話題を独占しています
が、この中で金木町キャンペーンや金木デーなど観光立町をめざす当町も観光協会、商工会など一体となつて大々的に参画し町の宣伝効果を高めています。

しかし、行革も影響してハードからソフトの観光開発が脚光を浴びるようになり、施設づくり以上に観光客の感性に訴えるものが観光立町の課題となつていま

それぞれ四つの柱は、直径五・七センチ。上屋の頂点まで七・七メートルもあり、照明設備も完備しています。相撲王国青森県の一翼を担う金木町は、過去に全国青年相撲大会三年連続優勝や大相撲力士の輩出など数々の栄光と伝統を受け継いでいますが、最近では東北学童相撲大会で嘉瀬小学校が優勝しており後継者育成も順調で、この施設の完成により一層の活躍が期待されます。

園内に町営相撲場が完成

相撲ファン待望の町営相撲場がさる八月二日、園内に完成し、修祓式を行ったあと、翌三日に「こけら落とし」として「第48回青森県相撲選手権大会」が開かれました。

円、二千人の観客を収容できる芝張りの敷敷を有し、広さが二、二七五平方メートル（六八九坪）。土俵の上屋を支える赤・緑・白・黒の

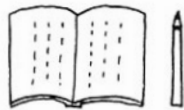
相撲連盟（原田一実会長）が主催し、昭和六年から続けられているこの大会は、炎天の下に町内外の相撲ファンら約二千人が詰め掛け、出場した十二チーム約九十人の選手一人ひとりの心・技・体に見入っていました。

8月4日（月）はれ

午前6時起床。今日も暑い一日だ。しかし、これまでの異常低温で稲の遅れが目立っている。この猛暑で一日も早く生育を取り戻してもらいたいものだと思わずにいられない。

午前8時30分〓出勤。各課の決裁とともに課長たちと事務打合せ。10時30分〓芦野公園遊歩道の延長に基づく現地踏査。（吊橋を渡つての散歩道も賽の河原が

町長日記



ぐっと近くなった感じがする。木陰も多く避暑には良い。役場へ帰って昼食するも来客者多し。

午後1時〓自然休養村管理センターで自衛隊協力会総会に出席。陸上自衛隊幹部のご臨席を得てあいさつ

す。2時〓役場3階会議室にて国民健康保険運営協議会。高額医療患者の増加とともに医療費の急増が国保財政を圧迫。基金の取りくずしなどで今後の国保運営も苦しい。願わくば病気の予防で患者の減少を！



8月3日行われた“県相撲大会”

3時30分〓中里町役場町長室へ。静和園の増築に関する管理者会議。（25名の増員で来年4月開園予定、寝たきり老人には吉報。）

完成した施設は、県立芦野公園内招魂堂裏側の休眠状態にある池を埋め立て、総工費が二千五百六十三万

金木産“えびすかぼちゃ”

只今出荷中!!



トラックで出荷される“えびすかぼちゃ”

畑作の基幹作物として定着した金木産“えびすかぼちゃ”の出荷が平年より十日、昨年より七日遅れの七月二十六日から始まり、ようやく最盛期を迎えました。

金木産“えびすかぼちゃ”は、昭和四十六年から遊休畑を利用して、低迷する水稻以外に副業として農家所得の向上を図ろうと喜良市地区ではじめられ、今では十五ヘクタールに作付。年間約三百トンの収量を上げ、糖度とコクのある味のみならず、

良さから県内外から引く手あまたの好評を得ています。今年の生育状況は、五月の低温により成長が遅れた

一番果に変形が多く、六月上旬のヤマセと降霜の影響で一時生育が停滞。平年に比べて十日遅れとなっています。

一個一個

磨き上げ

栽培は、一株の根に品質向上のためおむね六個を目途に着果させ、一個一個をメロンマットなどで保護しますが、変形防止や着色効果を上げるため、床返しやつる回しの作業を繰り返す根気のいる仕事も多いだけに、収穫期になると喜びもひとしお。最盛期を迎えた出荷は、一個一個きれいに磨き上げ、一箱(十キロ)に形・色・イボの有無などを選別し四〜六個箱詰めされます。

昨年より

やや安値

今年の取引価格は、昨年の十キロ当り平均二千二百円よりやや安値の千七百円〜千八百円となっていますが、時期的に九州方面のかぼちゃと代って出回るため、これから本番。東京・名古屋方面の市場価格を気にしながらも作付農家は出荷作業に励んでいます。

JANコード

何がどれだけ売れたかを

把握するシマ模様

食品や日用雑貨品を買うと、シマ模様のラベルが付いていることがあります。お気付きですか。これは「どの商品がどれだけ売れたか」をチェックするために付けられたコードで、その仕組みは国際間で取り決められているものです。

二種類ある JANコード

日本の商品に付いているコードは、JAN (Japanese Article Number)

コードと呼ばれています。

このJANコードは、POS (ポイント・オブ・セールス) 販売時点情報管理システムを採用している店で売上管理などに利用されています。

POSシステムを採用している店では、光学式自動読み取り方式のレジスターでJANコードを読み取っ

てコンピュータに送り、販売時点で、何がいくつ売れたかを正確に迅速に把握しています。

ところで、商品についているJANコードは、大きく二つに分けられます。一つはメーカーや発売元でラベルや包装材に印刷される「ソースマーキング」。もう一つは小売店などでラベルを印刷して商品にはりつける「インストアマーキング」です。

ソースマーキングは「どの国の、どの商品メーカーの、どの商品か」を表示するもので、太さの違う縦線(バー)が異なる間隔で並んでシマ模様のようになっており、その下に十三けた(標準タイプ)か、八けた(短縮タイプ)の数字が並んでいます。バーはいろいろな組み合わせで下の数字字と同じことを表示してい

順調な葉たばこ — 下葉の収穫 —

生育が順調な葉たばこ栽培で下葉の収穫が最盛期を迎えています。

更生部落と川倉地区を中心に六十ヘクタール作された年間二億円農業となった葉たばこは、一本の苗から二十七〜八枚の収穫ができ、

下葉、中葉、本葉、天葉の順に一枚一枚が商品。現在下葉の収穫がピークを迎え

ています。

今年の葉たばこは、春先の異常低温で水稲と同じく成長が遅れたものの以後の好天で生育を取り直し、

で、雪の降る十二月中旬まで続けられますが、収穫時

期が一番忙しく、しかも好天時の作業となるため、なかなかの重労働。汗だくの仕事を毎日精を出しています。

収穫された大きな葉たばこは、特殊な機械でロープに結び乾燥小屋にズラリと吊され選別と梱包を待ちま



下葉の収穫作業

フレッシュ ギャル



金木昭和町

小野 美奈子さん

(19才) やぎ座 (A B型)

電話交換手として金木警察署へ勤め、もうすぐ3ヶ月になろうとしています。職場が職場だけに緊張の毎日でしたが、周囲のやさしい人達の励ましでようやく

く慣れてきました。それも係をまちがえて電話を継いだり失敗も多いです。趣味はレコード鑑賞、トシちゃんのコンサートも見

少々、スパゲッティが得意です。高校時代剣道(二段)をたしなんでいて、たまに母校へ遊びに行つては後輩達と汗を流しています。休日

かへ行きますが、私に免許がないのでぜひ取りたいと思っています。だって通勤にも使えるでしょ……。自動車はミラが好きです。好きなタイプはやさしさと厳しさを、うまく使い分ける人がいいですね。23歳までは結婚も……?。

ます。このJANコードは財団法人流通システム開発センター内の流通コードセンターに申請、登録され管理されています。

同センターによると、JANコードの普及によって消費者が受けるメリットとして、次の点を挙げています。

レジが正確で 早くなる

POSシステムを導入している店では、レジでの計算が早くなり、しかも正確

で、レシートには買い上げた商品名が打ち出されて、分かりやすくなること。

また、小売店の段階では販売情報を正確、迅速にかむことによって商品の品切れがなくなり、新鮮な商品を取りそろえられるようになること。

また最近では、POSシステムを採用するスーパーやコンビニエンス・ストアが急速に増加しており、消費者が受けるメリットが大きくなつてきていると言えましょう。

〈標準タイプ〉

国コード	商品メーカーコード	商品アイテムコード	チェックデジット
(イ)	(ロ)	(ハ)	(ニ)

〈短縮タイプ〉

(注)イの番号は、ベルギーの管理本部で、ロは各国のコードセンター等で管理している。

「あいさつ運動」 — 金木町教育委員会 —

○朝おきたら家族で……「おはよう」

○道で出会った人にも……「おはよう」

○学校で、職場で……「おはよう」

夜空を焦がす 武者絵に「ヤーレ・ヤーレ」

— 喜良市のねぶた —

子どもたちの手作りによるねぶた運行を。とさる八月十日〜十二日の三日間喜良市地区で十三台の手づくりねぶたが出陣し、子どもと大人が一体となって短い夏の夜を楽しみました。このねぶた運行は、区内十三の単位子ども会（町内単位）が組織している喜良市子ども会連合会が主催して毎年行っているもので今年でちょうど十年目、今では喜良市の「伝統行事」となっています。

ねぶた作りは、子供たちがマンガ本や写真などを持ち寄って、「出し物」を決め

下絵から絵付けまで完成。お父さんらの仕事は骨組みや張り付けなどで親子が一体となって十日余りで仕上げました。

運行最終日の十二日は合同運行で、午後七時旧喜良市小学校の空地に会員二百人のほか、高校生リーダー、裏方として頑張った育成会のお母さん



子どもたちの手づくりねぶた

角田美佐男さん

射撃で全国優勝

さる七月十六・十七日の二日間、愛知県岡崎市で開催された「第8回安全狩猟全国射撃大会」で栄町の角田美佐男さん（41才）がAクラス個人優勝の榮譽に輝きました。

角田さんは町内でも指折りの射撃名手として猟友会員から推され、県予選をなんなくパス。全国大会では

青森県勢唯一の入賞者でしかも個人優勝を飾りました。大会は、全国各地の予選を勝ち抜いた一九八名が参加し、七十五点満点。このうち角田さんはトランプAクラスで七十二

発を命中させ、日頃の腕前を發揮しました。



愛銃を手に喜びの角田さん

ら総勢五百人が集合して運行開始。子どもたちは武者絵や劇画などのねぶたを「ヤーレ、ヤーレ」と元気な声で引つ張り、約三キロにわたって運行しました。

お盆で帰省中の県外就職者も参加して子供たちと一緒に手を取り合ってはねていました。

また、ねぶたは嘉瀬地区で十五日・十六日。金木で十五日・十七日の三日間の日程でそれぞれ運行され、短い夏の夜の一刻を楽しみました。

クッキング ⑤



「原田風中華サラダ」

藤枝 原田 きなさん (52-2888)

Cooking — Cooking — Cooking — Cooking — Cooking — Cooking — Cooking — Cooking — Cooking

ありあわせの野菜で手軽にできて、今の季節に最適な「原田風中華サラダ」金木農協婦人部に所属している原田さんのあっさり料理の一品です。

▽材料

鶏肉……………二百グラム
きゅうり……………中二本
人参……………中一本

玉ねぎ……………小一個
しょう油……………小さじ一
砂糖……………小さじ二

ごま油……………小さじ一
塩……………少々
片栗粉……………少々

▽作り方

①鶏肉を二センチ位に切り、片栗粉を塗ってゆてま

す。きゅうりは塩で板ずりした後、乱切りにし、人参も乱切りにして、さっと熱湯をかけます。玉ねぎは輪切りにして塩でよくもみ、水洗いをして水気をとりま

す。②①に砂糖、しょう油、ごま油を入れて和え、冷蔵庫に入れて少し冷やして出来上りです。

▽コツと応用
中華サラダは、冷やした方が夏にはいっそうおいしく食べられます。





145人が大人の仲間入り

夏の成人式として恒例になった「成人を祝う会」が、さる八月十五日、中央公民館で開かれ、今年度百四十五人が大人の仲間入りをし、古川町長らの祝福を受けました。

今年の成人対象者は昭和四十一年生まれの男六十三人、女八十二人の百四十五人で会場には、お盆で帰省した新成人を含め約百三十人が出席しました。

祝う会では、古川町長が「法律的にも国家の一員として重要な権利と義務を与えられ、今後の責任感あふれる活躍を期待します」とあいさつ。沢田茂町議会議長や斉藤司青年団長らの祝福を受けました。

て氣仙聡美さんが「国家社会の一員として郷土を愛し町発展のために尽くします」と謝辞を述べ決意を新たに新成人を祝いました。

育苗ハウスで

三重輪作を!!

水稲の育苗ハウスを利用して三重輪作を」と時田

の田中孝一さん(28才)方では、①水稲の育苗②トマト③キヌサヤエンドウと出稼ぎ解消に向けた三つの栽培に取り組んでいます。

生産者米圃置きなど低迷する稲作の中で、田中さんは、水稲以外で農業所得を向上させ出稼ぎの解消を図る方法はないものかと思案。現有の育苗ハウスを利用して畑作に取り組みました。

現在のトマト栽培を手掛けたのは五十六年で、それ以前は、セロリやブロッコリーなど手さぐり状態で挑戦。反収の良いトマト栽培の情報を得て、思い切って切り替えました。

「作り方がぜんぜん分からないのと半促成トマトを手掛けたので値がくずれが

してました。参加者は久しぶりに会う友達同土なごやかに懇談し、新成人を祝いました。

収益面でも失敗の連続でした。」と田中さん。

それでもいろいろな人の話を聞くなど栽培法を勉強。土壌改良、肥料のまき方など徐々にマスターし、五十九年頃から関東方面の出荷で軌道に乗り出しました。

現在ハウス八棟、約千平方メートルに半促成と夏秋トマトを半々作付し、実績も上々。昨年から農協青年部の仲間も増え今年は「県水稲育苗施設利用促進モデル事業」に指定されたこ



↑育苗ハウスで収穫時期を見る田中さん

とから更に四人の仲間が増え、田中さんが指導し、現在トマトの収穫に忙しい毎日を送っています。

また今年からトマトの後作にキヌサヤエンドウを植えて三重輪作に取り組みことにしていますが、「トマト栽培で一市場を確保したい。三重輪作は今後の課題です」と話していました。

今では出稼ぎもなく反収二百万円を目標に精を出しています。

預託金募集中 働く少年のための基金

預貯金の利息を運用基金として新聞や牛乳配達など、円が集って働きのながら、預託金は一口一万円以上で勉強しているとし、もちろん払い戻しは感心な少年達と自由。子どもたちの頑張りを励まそうー。と思いやりの気持、元気でと金木町働く少年のための基金がこの基金がのど設立されました。

この基金制度は、町村合併三十周年記念事業として

金木町働く少年のための基金管理運営委員会
役場教育委員会内
電話53-2111内48

問い合わせ先
金木町働く少年のための基金管理運営委員会
役場教育委員会内
電話53-2111内48

金木病院カルテ

11

『夏の食中毒』

江渡 諄 治

夏は食中毒の季節です。暑く湿気も多い時期は細菌の増殖が活発になるからです。昔から食中毒を防ぐた



腸炎 ビブリオ菌

め色々の方法がとられて来ました。例えば臭いを嗅ぐとか、塩、熱を使うといった事です。これらはどれも有効で、かなりの効果があります。

しかし困った事にこれでも万全ではありません。臭いでも塩でも防ぎ切れないものに、夏最も多い腸炎ビブリオ菌による感染型食中毒があります。この菌は戦後、大阪でシラス干しから

発見され、塩分に強い性質のため好塩菌と云われた事がありました。当然の事に海産物から多く出ます。以前我々の病院でイカの塩辛からこの菌を見つけた事がありました。

長時間冷蔵は要注意 新鮮なうちに食べる

仲々今迄の常識だけで食中毒を防ぎ切れないのは、もう一つの常識に盲点があるからです。それは冷蔵庫の過信です。最近、家庭用のものも大型になり、一週間分位の食料は詰められる程になりました。ところが細菌は、この位の冷たさで死滅しません。ただ殖え

ただ殖えただけです。それに一度扉を開くと中の温度は急激に上昇し、外気と同じ位になり、閉じても暫くは下りません。この間に菌は殖えるのです。か

塩をしてあるからと云って油断は出来ません。ただこの菌は熱に弱く火を通せば安全です。もともと塩辛や刺身は煮る人はあまりいないかも知れませんが、ブドウ球菌による毒素型中毒もちよつと厄介です。無臭の毒素で熱にも強いからです。少々怪いからと煮なおしても下痢、腹痛が始まる事があります。



ブドウ球菌

大した事はないでしょうが最後に取り出す分は二十回から三十回暖められる勘定

です。この間に細菌は徐々に増えます。いくら食中毒を起す菌でも極く少数では大した事はありません。大量になって始めて食中毒を起します。こんな訳で、冷蔵庫の中でも長期間経過したものは要注意です。

幸いこれらの菌による食中毒は重症にはなりません。が、一番良い予防法は早く喰べる事です。新鮮なうちに腹に収める事が最も確実であり、又一番美味しく喰べる方法でもあります。

りは一週間分の食料を入れたとします。一日最低三、四回は扉を開くでしょう。一日、二日は回数も少く、

はじめまして

つばさ 翼 ちゃん
6月25日生まれ
体重 3,160グラム
嘉瀬 木村一二三さんの次男



戸籍の窓

七月届出

おめでとう

おめでとう

- 木村 翼(一二三)嘉瀬
- 白川 綾乃(巨)金木
- 白川 慶祐(幸蔵)沢部
- 秋元 達(光義)金木
- 櫛引 孝行(豊)嘉瀬
- 秋田 梨夏(尊)川倉
- 白川 夏樹(勝一)沢部
- 泉谷 朋香(利幸)川倉
- 飯塚 緑(均)嘉瀬
- 柳谷 峻央(敏彦)金木
- 澤田 夏美(昭)嘉瀬
- 木下 美穂(明美)嘉瀬
- 木下 洋子(悟)嘉瀬
- 山中 将裕(新)嘉瀬
- 上森那津子(進)金木
- 原田 千彰(忍)中柏木
- (秋谷 諭(正義)喜良市)
- (工藤不津子(政一)稲垣村)
- (松本 久志(良一)五所市)
- (三上富士子(兼義)嘉瀬)
- (浜田美佐子(常道)嘉瀬)
- (太田美佐子(義美)五所市)
- (高松 勝幸(福松)中里瀬)
- (野宮 祐子(良一)嘉瀬)
- (黒滝 利正(登)金力村)
- (北澤 利美(忠徳)重力村)

おめでとう

- (田中 逸雄(長三郎)金木)
- (伊丸岡 泉(京子)喜良市)
- (田中 光悦(重光)喜良市)
- (秋元富紀子(勇次)中里町)
- (長利 謙二(勝春)中里町)
- (今 富士子(トシヨ)川倉)
- (成田 隆博(隆守)金木)
- (小山内由加里(良幸)重力村)
- (山中 伸治(正津)嘉瀬)
- (常盤美保子(文雄)秋田県)
- (佐野 洪(94)嘉瀬)
- (棟方 ナミ(78)喜良市)
- (桑田 ヨコ(79)喜良市)
- (鳴海 キナ(65)嘉瀬)
- (中西 タカ(88)金木)
- (佐藤 勘治郎(83)川倉)
- (鎌田 クニ(81)金木)
- (三上 アネ(73)金木)
- (大橋 つね(96)金木)
- (鳴海 男治(93)金木)

人口と世帯

7月31日現在	前年同月比
男 6,736	-108
女 7,299	-73
計 14,035	-181
世帯数 3,917	+27